

東京都VLP 保護者特別講演会

続・不登校の子どもへ 寄り添うということ

1/18(土)

時間:10:00-12:10

会場:zoom

講演者:加嶋 文哉さん



大分大学教育学部卒業後、佐伯市で小学校教諭を32年間勤め、2014年3月に退職。在職中の1994年に「星の会」（不登校を考える親の会）を設立。2015年1月に不登校・ひきこもり研究所「明日が見える」を設立。2018年5月には、「不登校・ひきこもりを考える親の会ネットワークおおいた」を設立し代表に就任。

<役職>

星の会（不登校・ひきこもりを考える親の会）代表

不登校・ひきこもり研究所「明日が見える」所長

不登校を考える親の会ネットワークおおいた 代表

内容

不登校の子供へどのように向き合えばよいのか？どのような言葉をかければよいのか？日々悩み、不安を抱えている保護者の皆様へ。

「大人が良いと思う方向が子どもをかえって追い詰めることになってしまうことがあります。その失敗に気づくことが、寄り添うということであると思います。」

7月にご講演いただきました、加嶋文哉さんによる続編です。前回の内容を振り返りながら「多様な学び」「社会的な自立とは」をテーマとして加えています。皆様のご参加をおまちしております。

